

平成21(2009)年6月6日第10号

学校だより

恒例の茶道教室 今年も開催

6年生の社会科「室町時代の文化に親しむ」というテーマの下に、今年も茶道教室が開催されました。保護者のご協力をいただき、6年B組の教室に畳を敷き、落ち着きある床の間、掛け軸、茶花、にじり口、茶釜、建水などの道具類を配置し、真に当時を彷彿とさせる茶室をしつらえていただきました。16名のショウイングジャパンのメンバーが亭主、半東、陰出しなど各々役割を分担され、正式な茶席ができあがりました。



初めに茶の湯の歴史の紹介があり、作法と礼儀の大切さを学びました。子どもたちは全員着物(浴衣)を着て正客、次客の順ににじり口から入室し、キチンと正座の姿勢をとりました。礼に始まり礼に終わるお手前を頂戴いたしました。とても、緊張の時間でしたが日本の文化に親しむとても充実あるひとときでした。



この茶道教室はおよそ10年前から続いているもので、本校の伝統行事になっているものです。このように長く続けられたのもショウイングジャパンの皆様のご指導ご協力のお蔭であり、また、保護者の皆様の全面的な御支援の賜であります。



最後には6Aの野口優花さんと6Bの杉谷銀治君が皆様にお礼の言葉を申し述べました。総礼で始まり、総礼で茶会を閉じました。この茶道教室は多くの方々の支えで続いてきましたが、来年も再来年も継続したい行事です。本校の歴史と伝統に厚みを加えていただきました。真にありがとうございました。

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

若田宇宙飛行士グッズのプレゼント JAXAから贈呈されました

5月23日に山崎飛行士による「宇宙の授業」の講演を予定していましたが、新型インフルエンザ対策のため延期となっています。ところが、JAXAでは、もし予定どおり開催されていれば、その際に現在、国際宇宙ステーションに長期滞在中の若田飛行士のミッションに関連するグッズ(ピンバッジやメモ帳)などを子どもたちに配布する計画をお持ちだったのです。

このほど、「若田さんが地球に戻る前に子どもたちに配布してほしい」とJAXAから下記のグッズが補習校に送られてきました。

幼稚園: きぼうのステッカー

小学校: 今度のシャトルミッションのステッカー

(若田さんが帰還するSTS-127のJAXAロゴ: 赤です)

中学校+高校: メモパッドときぼうのピンバッチ



ピンバッチは針が付いているため安全面を考慮され、中学生・高校生に配布してほしいとJAXAから依頼がありました。とても素敵な若田宇宙飛行士からの記念品になりました。ありがとうございます。もうすぐ輝かしい業績をあげられ帰還されると思いますが、お元気で帰還をヒューストン日本語学校の園児、児童生徒、保護者、教職員一同でお待ちしたいと思います。

本日、子どもたちにグッズを配布いたしました。若田宇宙飛行士さん、ありがとうございます。JAXAのみなさんありがとうございます。

「生き方在り方」進路指導⑦

わが子の自己理解を深めるには

前号で「啓発的経験つまり体験活動がとても大切」と結びましたが、この体験したことをどのように深めるのが豊かな体験に発展することになります。本校に学ぶ子どもたちは現地校での学習活動や課外での野球やバレー、ピアノ、チェロ、バイオリン、サッカーなど色々と活動しています。活動している子どもたちのみならず保護者にとっても、するからには意欲的に取り組みたいし、取り組んでほしいと願っていると思います。ところが日本でのことですが、保護者から次のような相談を受けたことがあります。

親：「近頃、うちの子どもは余り話してくれないようになったのですが、学校での様子は如何ですか？」

私：「別段変わった様子は見られませんよ。友達関係も順調ですし、部活動も頑張っていますよ。」

親：「でも、帰宅して私が学校の様子や他のことを聞いても、以前のように生き生きと話さなくなっているのです。」

私：「そうですか、学校での生活状況を見る限りにおいてはそのような様子はないのですが・・・。」

そこで、家庭ではどのような会話のやりとりをしているのか尋ねてみました。

私：「具体的には、お母さんはどのように話そうとしているのですか？」

親：『「ただいま」、と帰って来るから、「お帰り」と言います。それで、子どもが「あのね、お母さん・・・」と何か言いかけるので、私は、「どうしたの、けんかでもしたの」とか「試験の結果が悪かったの」などと尋ねるのです。すると「ううん、違うの」と言うので、「では、いじめられたの」と聞くのです。「違う！」と言って、自分の部屋に行ってしまうのです。』

私：『そのような聞き方では、まるで、会話と言うより、話の先取りではありませんか。そのような聞き方ではなく、子どもさんが何か言いかけたら、「どうしたの」くらいにして、次に自分から言い出すのを待ってあげてください。そして、次に何か言ったら「それで」と言って、次の言葉を待ってあげてください。』

保護者が話の先取りをしてしまいますと、子どもは話したい意欲をなくしてしまう事例です。子どもは話していくうちに、喜びや悲しみ、残念だったことや達成感などを親と共感する事によって、倍增したり半減していくことにつながらせていくのです。時には自慢話に「すごいねえ」と相づちを打ってあげる事も子どもの自信につながります。体験したことを話したり書いたりすることによって、自己理解が深まっていくのです。「なす事によって学ぶ」が進路学習の始めです。

～お知らせ～

～在ヒューストン日本国総領事館によるテストラン～

6月16日、午前10時から総領事館による緊急連絡網テストランが実施されます。本校ではこの実施を受け、下記の方法で皆様に連絡致します。

①図書システムを使用し、各家庭へメールによる一斉送信（着信の返信は不要）

②PTA連絡網で「電話とメール同時配信」します。

校長からPTA会長に電話とメールで連絡の依頼をします。その後、PTA会長から役員・クラス委員を経由して、皆様の元に電話で連絡内容が伝達されます。伝達の終了報告がPTA会長に届き、校長にその旨伝達されます。

校長は総領事館に伝達終了の報告をして、テストランが終了となります。メール着信の返信は不要。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

～心掛けたいこと、ひとつふたつ～

- 1 現地校が夏休みになって、少し気ゆるみが気になります。規則正しい日常生活を送るようにしつかり自分を律してください。
- 2 外は夏の訪れで高温ですが教室は涼しすぎる場合があります。上着など一枚持参することをお勧めします。

◆パトロール当番予定表 6月13日◆

～よろしくお願ひします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	小5	18	我妻航汰
2		19	伊藤雅来
3		20	矢部江理
4	小6	19	グレイ桜
5		22	野口愛実
6		23	村上弘樹
7		24	佐野大輔
★PM1リーダー	小5	25	白昇
2		27	秋山陽
3		28	三村弥久歩
4		29	西村有梨沙
5		30	野澤伶應
6		31	水上由梨香
7		32	三浦治樹

転出：井上裕太（小2B） 井上 葵（小4A）

大川佳鈴（小3A） 大川佳太（小5B）

転入：一尾理子（小1A） 一尾園子（小5B）

一尾泰造（中3）

転出のみなさんは本校での学びの年月を大切にされ、次のステージで飛躍してください。お祈りします。

転入の一尾家のみなさんは、1年半前まで本校に通学していて、再度のヒューストンです。歓迎します。